

# ICTで美味しさを守る「青天の霹靂」

小野浩之(工業総合研究所)

境谷栄二(農林総合研究所)

## 要約

「青天の霹靂」の食味と品質向上のために、リモートセンシング技術を用いて現場での栽培指導へ活用できるWebアプリを農工連携で開発しました。

## 研究の概要

### 1. 背景・目的

青森県では、2015年に県産米「青天の霹靂」がデビューし、産地独自の出荷基準を設定して、食味や品質を重視したブランド化を進めています。目標収量を確保しつつ、食味を高いレベルで維持するためには、圃場条件に応じた適切な施肥管理が重要となります。

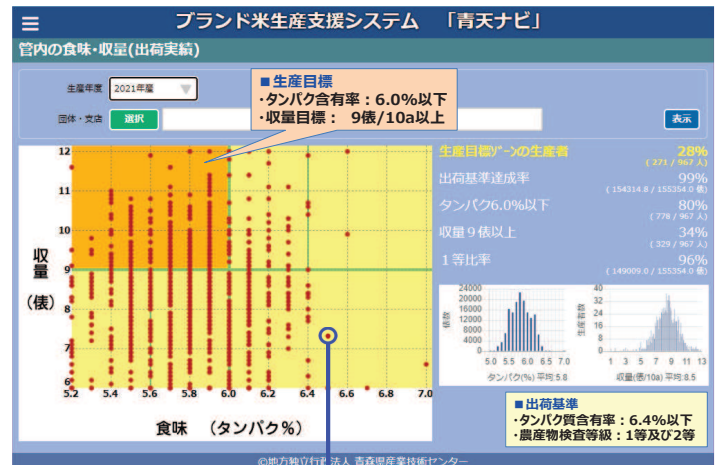
本研究開発では、これまで開発してきたリモートセンシング技術を発展させ、施肥指導をきめ細かく、かつ効率的に行えるICTシステムの開発を目的としました。

### 2. 内容

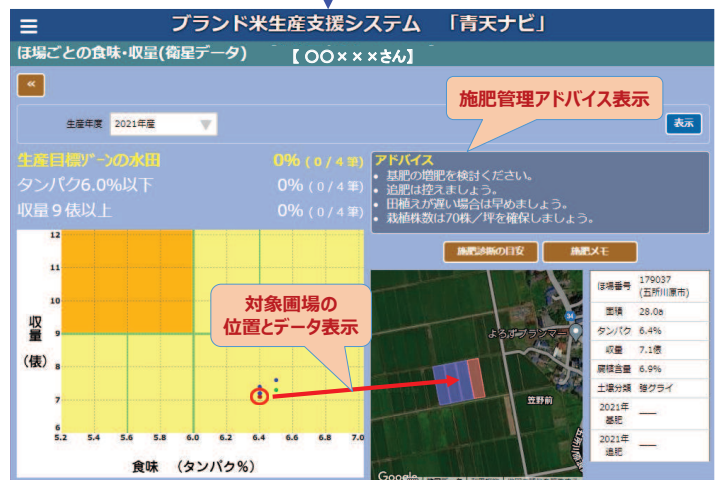
衛星画像データを活用して、生産者や営農指導員が適正施肥や適期収穫に活用できる生産支援システム「青天ナビ」を開発しました。圃場1枚ごとの緻密な生産指導が実現し、産地全体で品質にバラツキの少ないブランド米生産体制を構築しました。

### 3. 活用

生産指導では、2019年から指導員全員が「青天ナビ」を利用しており、2020年には生産者もスマートフォン等で直接利用できる体制を構築しました。



任意の生産者(赤点)をクリックするとその生産者の画面に遷移



開発したWebアプリ「青天ナビ」

## 関連情報

- ・市場性：米の食味及び品質向上による買取価格の上昇等により、年13億円の経済価値創出。
- ・商品化・実用化：「青天ナビ」の活用により、「青天の霹靂」はデビュー以来7年連続で食味ランキングで「特A」評価を取得。
- ・第11回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2022）農林水産大臣賞受賞。

工業総合研究所 素材エネルギー技術部  
Tel 017-728-0900 Fax 017-728-0903  
E-mail kou\_souken@aomori-itc.or.jp